

# 令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

堀 川 小	学校
-------	----

児童数	889
-----	-----

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.81	19.78	34.58	43.11	45.73	9.95	146.05	17.78	51.60
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	15.91	18.21	40.09	41.97	40.97	9.83	9.83	12.11	55.35
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

## 結果の概要

男子・女子ともに、種目による差が大きい結果となった。  
 (男子) 反復横跳びで3.3p、上体起こしで1.5p上回った半面、握力で3.6、50m走で3.3p下回っている。体力合計点は、大阪市平均は上回ったが、全国平均は下回っている。  
 (女子) 反復横跳びで4.4p、20mシャトルランで2.5p上回ったが、立ち幅跳びで4.1p、ソフトボール投げで2.2p下回った。体力合計点は全国平均を上回っている。(数値は全国平均を50と換算した時の得点Tポイント) 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答が、男子は87.7%と全国平均を下回り、女子は92.3%と上回った。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合が、男子で全国平均の2倍を超えていることは課題である。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度より体育科において「自分の動きを言語化し、体現化につなげる」を柱に研究を行ってきた。教えることと気づかせることを明確にし、運動の技術について「教え」動きのコツやチームの作戦には「気づかせる」指導法を工夫するとともに、運動量を確保することにも重点を置いて取り組んだ。  
 その結果、男子93.8%女子92.3%が体育の授業は楽しいと回答し、「できなかったことができるようになったきっかけ」として、先生にポイントを教えてもらった、先生や友達のまねをしてみた、友達に教えてもらった」という回答が多くみられることは成果である。種目による結果のばらつきは、今後の取り組みの重点化にも生かすべきであると考え。今年度も校舎増築工事で運動場が半分となる時期が半年続き、限られた運動環境であったが、児童は運動を楽しめるようになっている。今後、場所の使い方を工夫し、運動機会を確保する教育課程の編成となるよう一層工夫していく。